平成 27 年度大学職員情報化研究講習会～基礎講習コース～
研修報告

Ｂ－３班【ビーサン】

テーマ：入口から出口まで

１．　テーマ設定

グループ内でブレーンストーミングおよびＫＪ法を適用し、大学の役割には「研究」、「人材育成」、「国際交流」、「地域貢献」の４つの要素が重要であるという意見が挙がった。

次に、その４つの要素それぞれについて、ＩＣＴ活用を前提とした大学が改善すべきことを導出した結果、「人材育成」における「入口（入学）から出口（卒業）までの学生サポート」がＩＣＴを効果的に活用でき、かつ、大学に大きな影響を与える提案になりうると考えた。そして、本グループでは「入口（入学）から出口（卒業）までの学生サポート」における重要なシステムとして、ポータルサイトに着目し、討議を進めることにした。

２．　問題点の深堀

ポータルサイトにおける在るべき姿と現状および問題点の討議結果を以下に示す（表１参照）。ここで、１行目は教職員における実情、２行目以降は学生における実情を示している。

表１．ポータルサイトにおける在るべき姿・現状・問題点の考察

在るべき姿	現状の姿	問題点	対象
情報共有	△（部署毎）	権限（更新・公開・・・）	教職員
確実な情報の通知	×	見ない・ログインしない	学生
学生が積極的に利用	×	ポータルが魅力的でない	
学生の要望通りの情報を流す	×	無し	
使うことのメリットが多い	△	ポータルにメリットを感じない	
コミュニケーションの場	×	無し	

本グループ内討議では、テーマ設定が学生サポートを中心とするものであるため、今回は教職員における実情に関しては討議対象から外すこととした。

３．　解決策の検討

表１に示すように、現状のポータルサイトは学生にとって有意義なものではないという結論が出た。特に「学生の要求を満たせていない」、「学生が使いたいと思える機能が用意されていない」といった要因が挙げられた。

そこで、本グループでは学生が「使いたい！」と思えるポータルサイトの構築が必要であると考え、そのための仕組みづくりやコンテンツ等、討議を通してまとめ、提案することとした。

4.　大学のイノベーションの提案

タイトル：

アカデミックビックデータの活用による学生サポートの充実 ～新しいポータルの提案～

現状のポータルに対し、スマートフォン対応やコンテンツの見直しはもとより、従来のポータルからの強化機能として、「休講掲示板」、「宿題提出機能」、「就活手帳」などのデジタルコンテンツを盛り込む。さらに新規機能として、「お悩み相談コーナー」、「コミュニティツール」（図１参照）などの機能を追加したポータルサイトを提案する。

本ポータルは、従来から蓄積されている学生情報を全てデジタル化しビッグデータ（図２参照）として蓄積する。さらに、上記の強化機能や新規機能のデータも蓄積・分析することで、ポータル上で学生をしっかりとサポートする、いわゆる CRM（Customer Relationship Management）型ポータルの実現を目的としている。これが実現できれば、

ポータルサイトが魅力的に⇒学生のアクセス数アップ⇒

ビッグデータへの情報蓄積⇒サービスの充実⇒更なる魅力的なポータルへ

といった好循環が生まれ、結果的に学生サポートの充実化という目標の達成が期待できる。

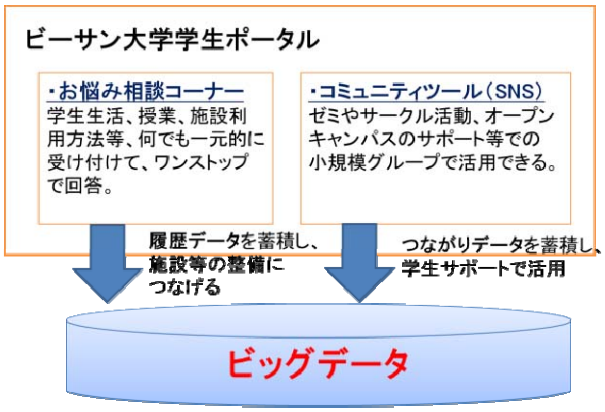

図１．新規機能とビッグデータ

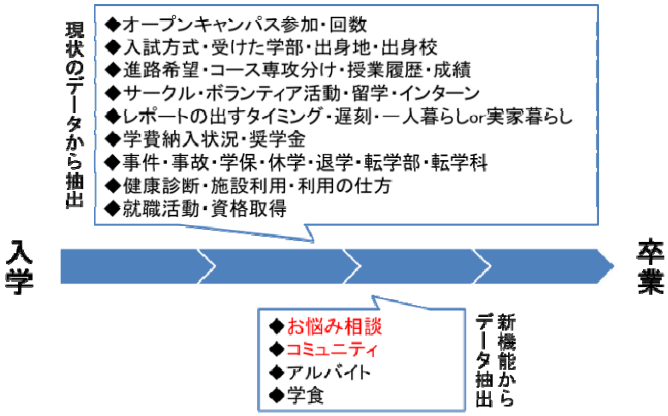

図２．ビッグデータ用基礎データ

具体的には、ビッグデータの分析から例えば、同じ境遇の学生達が参考にしたコンテンツを学生に提示する機能（レコメンドシステム）や、学生への進路傾向の提示機能（ロールモデルの作成）、また、教職員側ではその学生の退学傾向の予測や施設改善の要望、様々な業務への利活用が可能となる（図３参照）。このビッグデータプラットフォームを基盤とすることで、学生向け CRM 型ポータルサイトの実現、さらには大学 IR への活用、大学教育の質的変換へのアプローチも可能となり、より良い教育環境を創造できることが容易に想像できる。

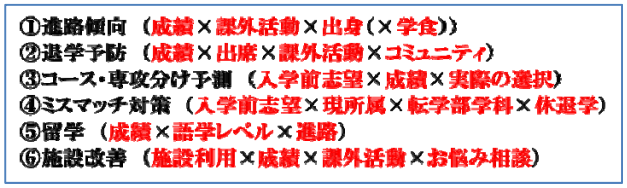

図３．ビッグデータから学生サポート

5.　総括

ビッグデータプラットフォームの構築、CRM 型ポータルサイトの提案を行った。この提案を実現するためには、各種データのデジタル化、機微情報の取り扱い権限等の課題はあるが、各大学でのガバナンスの充実・強化への取り組みを通じて、このような提案を積極的に行いながら、提案力・折衝力など更なる高みを目指していく必要性を感じた。